

平成 23 年 10 月 21 日(金)
愛知県県民生活部文化芸術課
国際芸術祭推進室 事業G
担当：保田、吉田
電話：052-971-6111
県庁内線：724-691、724-693

あいちトリエンナーレ 2013 に向けて
トリエンナーレスクールがスタートします！

あいちトリエンナーレ 2013 の開催に向けて、現代アートをもっと身近に楽しんでいただくため、レクチャー形式のトリエンナーレスクールを開始します。

第一線で活躍するアーティストや専門家をゲストに迎え、アートと地域の関わりや海外の国際展の状況などをテーマに今年度は計 4 回開催します。

1 トリエンナーレスクールの概要

○ コミュニティーと美術シリーズ 1 「市民・美術・教育」

日 時：平成 23 年 12 月 10 日（土）14:00～15:30

会 場：愛知芸術文化センター12 階アトスペース A

ゲスト：中村政人（アーティスト／東京藝術大学絵画科准教授／3331 Arts Chiyoda 統括ディレクター）

定 員：200 名、参加費：無料（申込不要）

○ 世界の中の日本シリーズ 1 「日本の現代美術が世界で経験していること」

日 時：平成 24 年 1 月 28 日（土）14:00～15:30

会 場：愛知芸術文化センター12 階アトスペース A

ゲスト：小山登美夫（小山登美夫ギャラリー代表）

定 員：200 名、参加費：無料（申込不要）

○ 世界の国際展シリーズ 1 「ヴェネチア・ビエンナーレでの出来事」

日 時：平成 24 年 2 月 25 日（土）14:00～15:30

会 場：愛知芸術文化センター12 階アトスペース E・F

ゲスト：植松由佳（国立国際美術館主任研究員）

定 員：60 名、参加費：無料（申込不要）

○ 表現の最先端シリーズ 1 「クリエイターもキュレーター」

日 時：平成 24 年 3 月 3 日（土）16:00～18:00

会 場：アトラボあいち 1 階

ゲスト：澤隆志（映像作家／キュレーター）

定 員：45 名、参加費：無料（申込不要）

※当日は各開始時刻の 30 分前から受付し、整理券を配布します。各回とも先着順で受付を行いますので、定員に達した場合は入場をお断りすることがあります。

2 問い合わせ

あいちトリエンナーレ実行委員会事務局 担当：保田、吉田

住所 〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目 13-2 愛知芸術文化センター6 階
(愛知県県民生活部文化芸術課国際芸術祭推進室内)

電 話 052-971-6111 F A X 052-971-6115

E-mail geijutsusai@pref.aichi.lg.jp

(略歴)

中村政人 (NAKAMURA Masato)

アーティスト。東京藝術大学絵画科准教授。3331 Arts Chiyoda 統括ディレクター。
1963 年秋田県大館市生まれ。「美術と社会」「美術と教育」との関わりをテーマに様々なアートプロジェクトを進めるアーティスト。第 49 回ヴェネチア・ビエンナーレでは日本館の代表作家として参加。1998 年よりアーティスト・イニシアティブ・コマンド N を主宰。2005 年に活動拠点として「KANDADA」(神田)を立ち上げ、秋田県大館市で「ゼロダテ」、富山県氷見市での「ヒミング」など地域での市民参加型アートプロジェクトを数多く手がける。2011 年 6 月、東日本大震災復興支援「わわプロジェクト」を立ち上げる。アートプラットフォームの最先端を開拓し、新たなソーシャル・インクルージョンを実践する。平成 22 年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

小山登美夫 (KOYAMA Tomio)

小山登美夫ギャラリー代表。明治大学国際日本学部特任准教授。
東京藝術大学芸術学科卒業。西村画廊、白石コンテンポラリーアートでの勤務を経て、1996 年に小山登美夫ギャラリーを開廊。奈良美智を始めとする同世代の日本アーティストの展覧会を多数開催するとともに、同世代の国外アーティスト、トム・フリードマンやジェラティンなどを日本に紹介する。またオープン当初より、海外のアートフェアへも積極的に参加し、日本アーティストの実力を世界に知らしめるとともに、マーケットの充実と拡大に貢献している。2005 年より江東区清澄白河にて営業。2008 年には京都には京都市下京区に小山登美夫ギャラリー京都を開廊。

植松由佳 (UEMATSU Yuka)

国立国際美術館主任研究員。香川県生まれ。1993 年より丸亀市猪熊弦一郎現代美術館勤務を経て、2008 年 10 月より現職。主な企画担当展に「東芋：断面の世代」(2010、横浜美術館との共同企画)、「ピピロッティ・リスト：ゆうゆう」(2008)、「エイヤ=リーサ・アハティラ展」(2008)、「須田悦弘展」(2006)、「やなぎみわ 少女地獄極楽老女」展(2004)、「草間彌生展 Labyrinth-迷宮の彼方に」(2003)、「ヤン・ファール」展(2001)、「Isamu Noguchi & Issey Miyake ARIZONA」展(1997)など。第 13 回バングラデシュ・ビエンナーレ日本参加コミッショナー。京都造形芸術大学非常勤講師。第 54 回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館のコミッショナー。

澤隆志 (SAWA Takashi)

2000 年から 2010 年までイメージフォーラム・シネマテーク、イメージフォーラム・フェスティバルのプログラム・ディレクターを務める。また、ロッテルダム、ベルリン、バンクーバー、ロカルノ等の国際映画祭や、国内美術館等にプログラム提供多数。主な映像作品に『特派員』、書籍に、『temperature』(共作)などがある。